

●新刊案内●

ごみ問題の 総合的理解の ために

松藤敏彦(北海道大学)著, 技報堂出版 刊

A5判・約190頁

特別価格2,300円(税・送料込) <定価2,520円>



SBN978-4-7655-3423-9

ごみ問題は市民の生活と密接にかかわり、また多くの自治体が困難さを抱えていることから、最も身近な環境問題といえます。しかし、ひとくちに「ごみ問題」といってもその内容は複雑で複合的であり、その解決には、全体を総合的にとらえることが必要です。

本書は、「ごみ問題」を、以下の4つの視点から大局的に眺め、裏面の目次に示した13のテーマについて考えることによって、問題解決のための糸口となる知識や考え方について述べたテキストです。

- ①**歴史に学ぶ** (ごみ問題や施策の社会経済的な背景を知る。歴史は繰り返すことを知る。アナロジー(相似性)を見出す。)
- ②**表面的な理解から一步踏み込む** (ごみ処理の目的を理解する。現状を正しく理解する。数値の読み方に注意する。最小限の専門知識を身につける。)
- ③**総合的・多角的な視点をもつ** (ごみ処理全体として見る。時間、空間の広がりを意識する。多角的な尺度でとらえる。)
- ④**個々人はどうすればよいのか。**

◎著者「あとがき」より

本書の執筆を考えたのには、いくつか動機があった。

ごみの研究を始めてまもなく25年、ごみの発生から埋立まで、広く浅く対象としてきた。この間、統計のとり方、ダイオキシン問題、収集有料化を巡る議論など、おかしいと思うことがいくつもあった。しかし3年前(2004年)、自治体の資源回収が資源の循環どころか廃棄となっていることを知ったのは、ショックだった。何とかしなければならない、研究者のひとりとして「正しい情報を伝える義務」がある。これが第一の動機である。二つ目は、やはり2004年のことである。12月にスマトラ沖地震が発生し、国連からの即金での援助要請に対して日本政府はすぐに最高額の2億5千万ドルを約束した。ところがその2か月前の新潟県中越地震に対し、被災者の生活再建支援金として国が負担したのはわずか17億円であった。仮設住宅住まいを強いられている被災者よりも、政府は対外貢献アピールを優先した。弱い者に冷たい、あるいは存在にすら気がつかない社会はおかしい。ごみや環境を考えるときにも、被害を受けている弱者がいることを忘れてはならないのではないか。「弱者に対する意識と共感」をもたなければならない。第二の動機である。

第三の動機は、「豊かさに対する疑問」である。1988年秋から1年間、持ち物や服装に気を使わず、緑に囲まれ、時間と空間のゆとりがある米国ウィスコンシンでの生活は「豊か」だった。帰国直後に「豊かさとは何か」(岩波新書)を読み、その思いはさらに強まった。残念ながら、そこに描かれた状況は今もまったく変わっていない。豊かさへの道を誤ったことがごみ問題の根本にあり、それを見つめ直さなければ本当の解決には向かわない。

◆「注文票」は裏面にあります。 小社ホームページ <http://www.gihodoshuppan.co.jp> もご覧ください。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-2-5 和栗ハトヤビル ■技報堂出版■ TEL 03(5217)0885 FAX 03(5217)0886

『ごみ問題の総合的理解のために』 主要目次

(<http://www.gihodoshuppan.co.jp/newbooks/index.html> もご参照ください)

●序章 本書の視点と構成

- ごみ問題の難しさ
- ごみ処理に関する情報源
- 本書の視点
- 本書の構成

●1章 ごみ問題の歴史

- 人口増加による処理の必要性
- かつてのリサイクル型社会
- 高度成長とごみの増加
- ごみ収集のサービス化
- ごみの分類
- ごみの分別方法

●2章 環境問題の歴史

- 人間にとっての環境とは
- 古代、中世の環境問題
- 江戸時代の環境問題
- 明治時代の環境問題
- 戦後の環境問題（公害）
- 社会病としての水俣病

●3章 有害化学物質による環境問題

- 環境政策の経緯
- 有害化学物質の環境影響
- PCB（ポリ塩化ビフェニール）
- 生態系における食物連鎖と生物濃縮
- 残留性有機汚染物質
- ダイオキシン類

●4章 ごみの埋立処分

- わが国における埋立の歴史
- アメリカにおける有害物埋立
- 途上国の社会的問題
- 埋立近代化の段階
- 日本における埋立地の近代化
- 廃棄物処理における埋立の位置づけ

●5章 ごみの焼却処理

- わが国における焼却の歴史
- 二次公害の発生と安定燃焼の努力
- 焼却に対する補助金制度
- 焼却の基礎的理論
- 焼却施設の構成
- エネルギー利用

●6章 リサイクルの考え方と伝統的なリサイクル

- リサイクルの意味
- リサイクルの必要性
- リサイクルの分類
- 古紙のリサイクル
- ガラスびんのリサイクル
- アルミ缶、スチール缶のリサイクル

●7章 容器包装のリサイクル

- 容器包装リサイクルの背景
- 容器包装リサイクル法
- 自治体収集の変化
- 自治体収集の問題点
- リサイクルの質の低さ
- 改善のための方向性

●8章 耐久消費財のリサイクル

- 耐久消費財とは
- 家電リサイクル
- 自動車リサイクル
- 建築物のリサイクル
- リサイクル率の定義
- 耐久消費財の寿命

●9章 ごみ処理施設に対する住民意識

- ごみ処理施設建設の困難さ
- 迷惑施設に対するNIMBY反応
- ごみ処理施設に対する住民意識
- ごみ処理施設に対する住民のイメージ

- 施設周辺住民の反対理由
- ごみ処理施設が受け入れられる条件

●10章 健康リスクの評価

- リスクのとらえ方
- リスクアセスメントの手順
- 焼却炉のダイオキシン対策
- ごみ焼却はダイオキシン排出源か
- ダイオキシンのリスク評価
- マスコミの影響力

●11章 ごみ処理コストと有料化の意味

- ごみ処理コストの増加
- ごみ処理コストの内訳
- 施設建設と公共投資
- ごみ収集有料化の経緯
- 有料化議論の混乱
- 有料化の制度設計

●12章 地球規模の環境問題

- 限界の認識
- 持続可能な開発と地球環境問題
- ライフサイクルアセスメント
- 地球規模の環境問題
- 遠い食の問題
- 地球レベルの強者と弱者

●13章 私たちはどうすべきか

- なぜ消費するのか
- 必要性はどのように決まるか
- 家よりモノの日本人
- 早さと便利さの代償
- 国・行政・企業がなすべきこと
- 個人がめざすべきこと

あとがき
索引

図書注文票（特別予約価格用）

○ご希望の方は、本注文票に必要事項をお書き込みのうえ、技報堂出版に、FAX または郵送にてお送りください。請求書を添え、直送申し上げます。なお、本注文票以外でのお申込は、特別価格扱いになりません。

●書店では、特別価格の扱いはいたしません。くれぐれもご注意ください。

ごみ問題の総合的理解のために—松藤敏彦著— /特別価格2,300円(税・送料込)		注文部数 個人／法人*1	部
フリガナ お名前 (法人名)	法人の場合はご所属 部署名とご担当者名		
ご送付先*2 〒			
お電話			
【必要書類】 見積書 通, 納品書 通, 請求書 通			

*1: 個人のご購入か、法人のご購入か、○をおつけ下さい。

*2: 個人のご購入で、お勤め先にお届けする場合は、お勤め先の名称・読み仮名、所属部署名もお描き下さい。